

# 比良山系安全登山指導キャンペーン報告

2019年11月4日（月）6時30分 ～9時10分

11月4日、武奈ヶ岳などの登山口になる滋賀県葛川防村で、紅葉の盛りを迎える連休最終日に登山を行う一般登山者に対して登山届の提出を促す、啓蒙啓発活動を行いました。

## 実施項目

- ① 一般登山者に対し登山届用紙の記入を促す
- ② アンケート
- ③ 登山届用紙、グッズ（ホイッスル・アルミシート）の配布



天候は前夜から雨、朝は曇りになり午後には回復する見込みでしたが風が強く、登山口はとても寒かったです。

6時過ぎに集合し、挨拶と打ち合わせを行います。

登山口は滋賀県ですが、比良山系は大阪方面からの登山者が多く、事故も多数起きているため、今年度は大阪府山岳連盟からも手伝いとして参加しています。

当日の登山者数は、朝6時30分から9時10分間に40パーティー77名。

登山届の提出の有無を確認すると、インターネットで提出済みが5パーティー、用紙での届を持参していた単独男性1名、残り34パーティーは現地で記入して頂きました。

## 【登山者について】

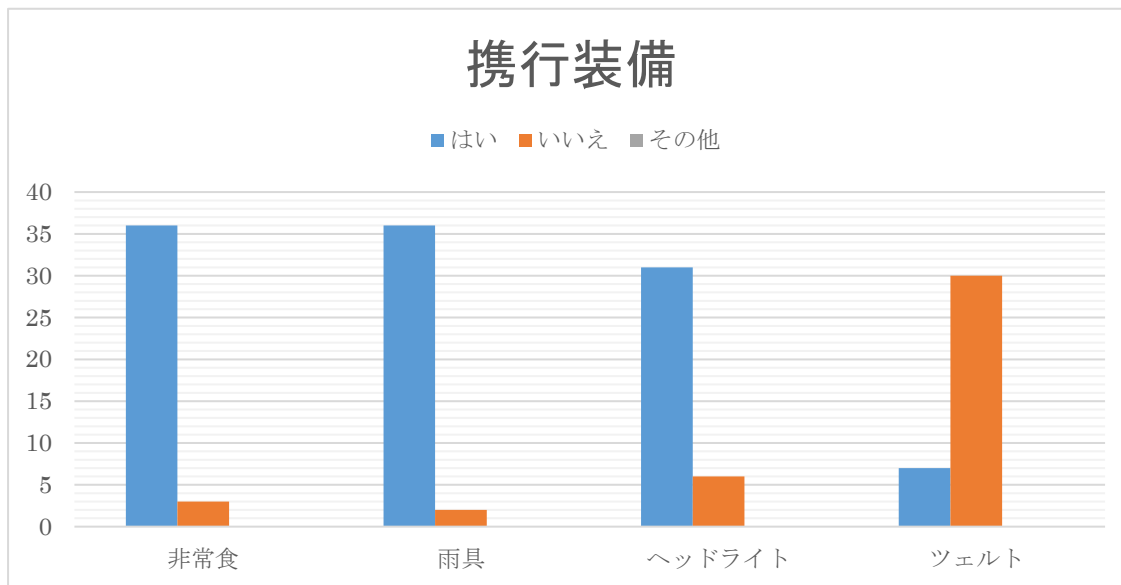
予想通り、京都府に続いて大阪方面からの登山者が多いです。

また、単独での登山者が目立っていました。40パーティー中19人が単独行の男性です。残りの21パーティーは複数で編成されています。



- 京都府・・・31名
- 大阪府・・・18名
- 滋賀県・・・12名
- 福井県・・・8名
- 奈良県・・・5名
- 愛知県・・・2名
- 兵庫県・・・1名

同時に、携行装備についての調査も実施しました。



ほとんどの人が飲食物や雨具などを持っています。登山口が肌寒いため、一見して薄着や軽装備のような登山者は見かけませんでした。

ヘッドライトについては、7時半以前、早朝から登山を始める登山者のほとんどが携行しています。しかし、9時過ぎに登山を開始する登山者の方がヘッドライトの携行率が低いことが特徴的でした。日没が早くなった今、遅い時間帯に入山する登山者ほど持っていてほしい装備だと感じました。

また、ツェルトについては、ほとんどの登山者が持っていませんでした。中には、携行の有無を尋ねた時に首をかしげるなど、ツェルトについての知識があまりないように見受けられることもありました。

1日の日照時間が短くなっている今、山に入るのには必要な装備を見直すいい機会であると感じました。ツェルトについては、知らない人に知ってもらう、「お守り」ではなく積極的に活用する方法を知るチャンスを提供するなど、広報活動をすることも有効であると考えました。

報告者 中尾 悦子 (広報)